

さかへい



透析室で
リハビリテーションが
受けられます！

救急科の
ご紹介



特集

常勤医師のご紹介

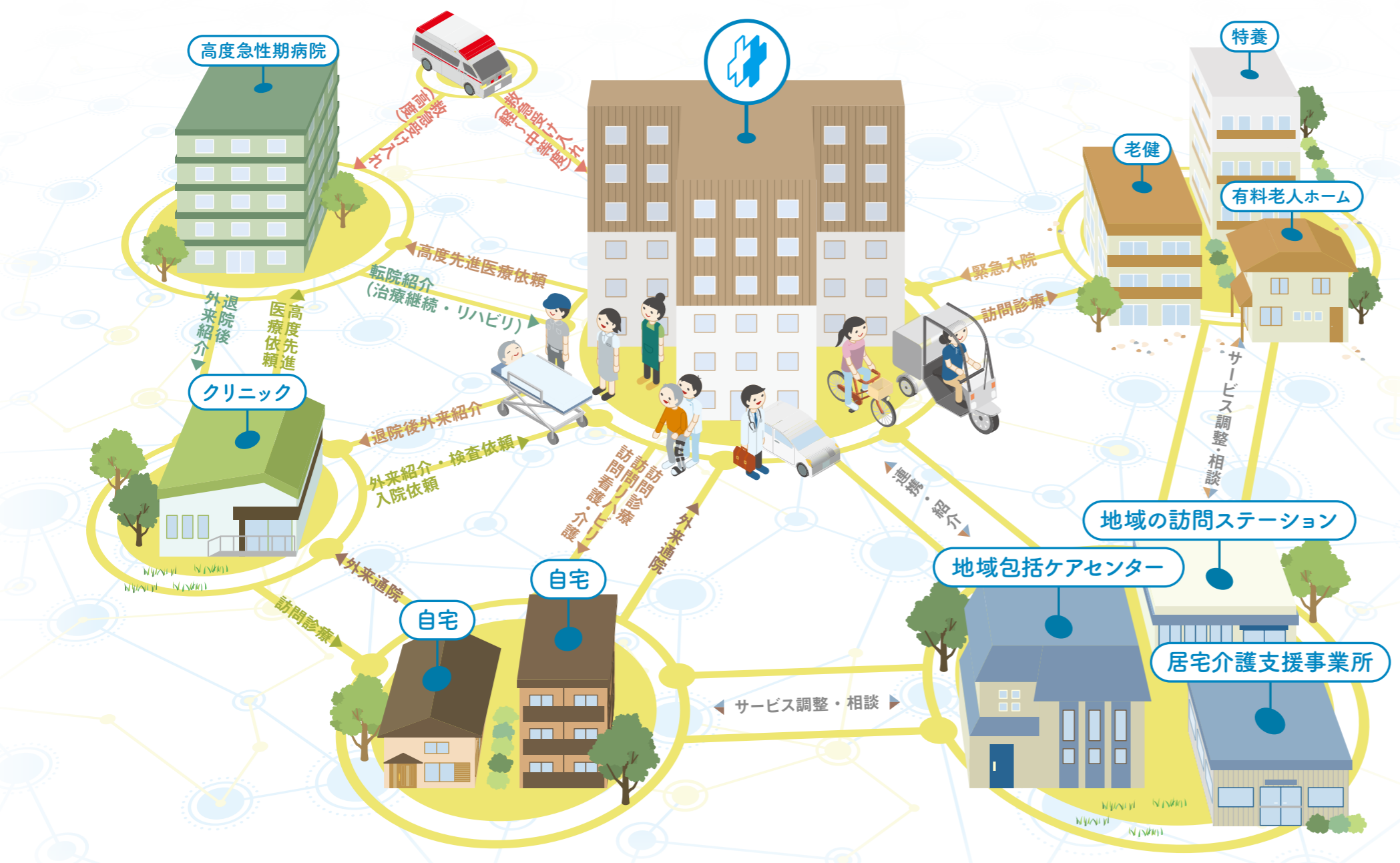


地域密着型多機能病院として 地域の健康を支えます

「地域密着型多機能病院」とは、地域に密着した、地域が必要とする機能を持つ病院のことです。私たちは地域住民の健康を守るために、救急医療から回復期医療、慢性期医療、そして在宅サービスまでの幅広い機能を持つ病院として運営しています。

しかし、私たちだけでは対応できないことはたくさんあります。高度先進医療を必要とする患者さん

んは地域の高度急性期病院に治療をお願いしますし、地域の開業医の先生方には退院後の患者さんの外来治療をお願いします。退院後の各種サービスにおいても、地域の医療・福祉事業者との連携なくしては成り立ちません。地域にあるさまざまな事業者と連携できるよう、地域医療のハブになり、地域全体で患者さんをサポートいたします。



院長 正木 浩喜

院長よりごあいさつ

堺平成病院は開院から4年を迎えました。

開院時より、地域密着型多機能病院として歩んでいくなかで、在宅生活を送る方の外来受診と救急対応、特にコロナ禍においては非常に多くの発熱外来患者の受診に対応し、必要時は入院対応も行ってまいりました。また、急性期治療後のリハビリテーションを主とした患者さんの受け入れも積極的に行ってまいります。

当院では、多職種の職員によるチーム医療に取り組み、情報共有を心がけています。入院治療においては、リハビリテーションだけでなく、栄養管理やポリファーマシーを含む内服薬の管理も行っています。透析患者さんも安心して療養できるように、透析治療を行う設備と医療スタッフの充実に努めております。救急対応後の骨折を含む整形外科の対応は、365日24時間体制で入院治療を行っています。

これからも地域住民の方々の健康を守りするとともに、患者さんが安心して在宅復帰できるための医療サービスを提供し、地域に貢献してまいります。



さかへい No.02

【目次】

- 院長よりごあいさつ 2
- 常勤医師のご紹介 4
- 透析室でリハビリテーションが受けられます！ 6
- 救急科のご紹介 8
- 入院病棟のご案内 9
- 関連事業所のご案内 10

常勤医師のご紹介

私たちが悩みや不安にお応えします!



総合診療科
鳴海 雄気

目標の実現に向けて努力し、向上心を持ち続けられる医師でありたいです。趣味は筋トレです。トレーニング歴は3年ほどですが、昨年初めて出場したベストボディ・ジャパンでは地方大会で準優勝を果たし、全国大会にも出場。当時は体脂肪率を3%まで絞りました(笑)。



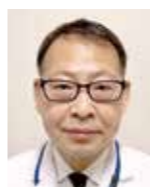
消化器内科
末吉 弘尚

患者さんはさまざまな痛み、しんどさ、不安、不便さを感じて入院されます。自身の経験をもとに患者さんの立場に立ちながら、寄り添うことを心がけています。患者さんが食べる喜びをいつまでも持つよう、栄養サポートチームの一員として活動もしています。



内科部長・消化器内科
梶村 幸三

医療の技術だけでなく医療全般の知識を高めること、チームで一緒に考え、協力しながら治療を進めていくことが重要だと考えています。本院のように急性期から慢性期まで完結する多機能病院は数少ないため、どんな病気でも対応できるようにがんばります。



院長・内分泌代謝内科
正木 浩喜

患者さんが安心して療養および治療を受けられるように努め、患者さん目線で物事を考えるようにしています。私自身は糖尿病を主に診療していますので、健康診断で血糖異常が指摘された方の食事や運動療法についての相談、生活習慣病に関する診療を積極的に行っています。

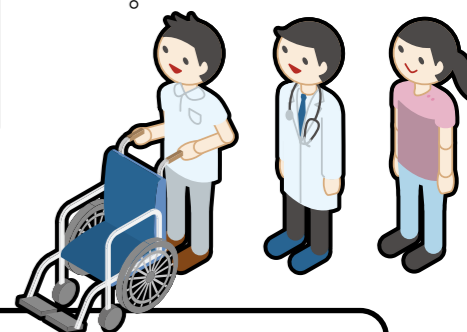


名誉院長・循環器内科・心血管外科
新谷 英夫

当院では一人の患者さんの治療や介護に多職種のスタッフが関わります。そのため、スタッフ間のコミュニケーションや情報共有が円滑に行えるよう、環境や関係づくりを進めています。私自身は総合診療医的な内科医として慢性期医療を担っています。

内科

どんなささいなことでも構いません。お気軽にご相談ください。



整形外科



整形外科
堀 博貴

患者さんに寄り添い、診察時には明るく元気になっています。当院では多職種が連携して一人の患者さんの治療に当たっているため、職種間でのコミュニケーションが非常に大切になります。コミュニケーションが円滑にとれる環境を心がけています。



整形外科
橋本 耕太郎

患者さんとのコミュニケーションを大事にしています。患者さんに説明する時は、理解しやすいよう専門用語を少なくするなどの工夫をしています。現場は多職種が連携して行うため、スタッフ間のコミュニケーションも大事にし、円滑に医療を行えるよう心がけています。



整形外科部長・整形外科
高木 陽平

手外科と肩関節外科を専門にしています。疾患だけでなく患者さんの背景やご希望を踏まえながら、できるだけ早いゴールを設定し、適切な治療を提案・実行していきます。



透析内科・腎臓内科



透析内科・腎臓内科
島田 輝彦

腎臓内科、透析治療に長年携わってきました。保存期～透析と幅広いスパンで患者さんの管理を行うことができます。長期的な視点を持ちながら、患者さんにとってメリットとなる治療に取り組んでいます。



透析内科・透析シャント外科
藤原 祥司

透析部門の透析管理、ブラッドアクセスの作成・管理をメインに行っています。ブラッドアクセスは、透析患者さんの生命線なので、当院ではトラブル発生時に可能な限り迅速な対応をしています。いついかなる時にも患者さんを救える状況を維持するよう心がけています。



透析センター長・透析内科・泌尿器科
清水 保臣

専門医としての確かな治療はもちろんのこと、透析室では快適に治療を受けていただけるよう、サービス面の強化にも努めています。一方的に治療を提供して終わるのではなく、患者さんやご家族も治療に参加しやすいよう、わかりやすく丁寧な説明を心がけています。

放射線科



放射線科
中西 能亜

急性期病院で、緊急性の高い画像を拾い上げてきました。放射線画像診断は日常診療の一助として、時に命に関わる重大疾患を暴き出す重要なツールでもあります。そのような疾患を即座に診断し、治療にスムーズにつながるような読影を目指しています。

麻酔科



麻酔科
塚本 宮子

手術は日常的なものになっていますが、患者さんにとっては一生に一度あるかないかの大事件。手術前の患者さんの不安や緊張を慮り、寄り添える医師でありたいと思っています。私自身が痛みに対して敏感なことを生かし、麻酔後の術後痛には全力を尽くして対処します。

歯科



歯科
島谷 浩幸

病院歯科にありがちな口腔外科に特化した治療ではなく、虫歯や歯周病治療、義歯作製まで幅広くオールラウンドに対応しています。高齢の患者さんが多い病院ですので、負担をかけないよう、安全・安心な治療を心がけています。

眼科



眼科
木野内 理恵子

症状が少しでも早く改善するように、丁寧な診察を心がけています。緑内障は早期発見、早期治療に努め、病気の進行を食い止めることが治療の目標です。白内障手術では、手術時の緊張を取ることや術後の乱視を減らすこと、術後の点眼練習に特に力を入れています。

泌尿器科



泌尿器科
國方 聖司

小生が高齢となり、高齢の患者さんの心情や希望がよく理解できるようになりました。高齢者に即した治療を心がけています。患者さんを取り巻く社会環境、事情や心情を配慮しながら治療に望んでいます。

リハビリテーション科



リハビリテーション科・脳神経外科
江頭 誠

すべての患者さんにおいてADL(日常生活動作)の向上を目指しています。障害の有無にかかわらず、QOL(生活の質)の視点を持ち、尊厳を大切に治療を心がけています。日本脳神経外科学会の認定専門医でもあり、脳神経疾患には自信があります。

さまざまな専門外来

透析室でのリハビリ内容



透析リハビリテーション

個別リハビリテーション（脳血管疾患・運動器疾患・廃用症候群・呼吸器疾患）が必要な透析患者さんに対して、透析で来院された日にリハビリテーションを提供しています。透析前のリハビリテーションは透析室で行っています（透析後のリハビリテーションはリハビリ室で行います）。



透析中の運動指導

長い透析時間中にしっかりと運動療法を行い、健康をキープ！オリジナルで作成した動画を観ながら看護師、理学療法士が運動をサポートします。



フットチェック・フットケア

透析を行っている患者さんは足部の冷感や潰瘍の形成などが起こりやすく、それが進行することで壊疽に陥ると、足部の切断に至ってしまう場合があります。このため、定期的なフットチェックとフットケアを行うことで、その予防に努めています。

New

VAIVTチーム結成！



透析部門より、シャントの知識豊富なメンバーで結成したVAIVT（透析バスキュラアクセスインターベンション治療：経皮的血管拡張術）チームを立ち上げました。医師、看護師、臨床工学技士がチームとなってシャントトラブルに対応します！

透析室の診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00-12:30	●	●	●	●	●	●
12:30-16:30	●	●	●	●	●	●
15:00-21:45	●	—	●	—	●	—



透析室で運動指導を行っている様子。



当院の透析室では、腎臓リハビリテーションの研修を受けたスタッフが、医師の指示のもと安全なリハビリテーションを提供しています。透析室で受けられるリハビリテーションについて紹介します。

透析室で

リハビリテーションが受けられます！

これを改善するために、当院では透析中にリハビリスタッフと一緒に運動指導を行うことで、継続した運動の提供を行っています。また、透析前後のリハビリテーションやフットチェック・フットケアも行っています。ご希望される方は透析スタッフまでお声がけください。

透析患者さんに継続した運動を！



理学療法士 白井 健太

入院病棟 のご案内

≡ 4種類、合計296床の病棟で在宅復帰をサポートします! ≡

4階 60床

地域包括ケア病棟

在宅復帰を目指す方の治療や支援を行います

ご自宅や施設で具合が悪くなった方、急性期病院にて症状が安定したものの退院後の生活が不安な方や、集中してリハビリテーションを受けたい方など、疾患を問わず、在宅復帰を目指す方であればどなたでも受け入れています。

疾患に対する治療はもちろん、在宅復帰を支援するためのリハビリテーションを提供します。



6階 56床

医療療養病棟

急性期医療の治療後も療養が必要な方を受け入れ

高度急性期病院での治療が終わったものの症状が安定せず、すぐに在宅復帰できない患者さんを受け入れます。ご自宅や施設への復帰を目標に、集中的な治療と積極的なリハビリテーションを施すことで症状を安定させ、早期復帰をサポート。退院後に治療が必要な状態になってしまっても、迅速に受け入れられるよう体制を整えています。



5階 60床

障害者施設等一般病棟

重度の障害がある方が安心して療養できる病棟です

長期間、集中的な医療を必要とする患者さんにトータルケアを実践する病棟です。重度の意識障害や脊髄損傷など重度肢体不自由の方、神経難病などがある方が主な入院対象で、人工呼吸器管理を必要とされる方も療養されます。専門多職種によるチーム医療で問題点を早期発見し、ADL回復、QOL向上に全力で取り組みます。



回復期 7・8階 120床

リハビリテーション病棟

リハビリテーションに特化した専門病棟

脳血管疾患や骨折の急性期治療が終了した患者さんを受け入れ、多職種によるチーム医療で質の高いリハビリテーションを提供、心身の回復を図り早期の在宅復帰を目指します。退院後には関連施設や地域病院などと連携し、復帰後の生活をサポート。1日のすべてがリハビリテーションにつながるような生活を提供することが特長です。



Emergency and critical medicine

救急科のご紹介

24時間、365日、私たちが地域のみなさんを守ります!

「こんなことで救急車を呼んでもいいのかな……?」「利用者さんの様子がいつもと少し違うから心配……」。そんな風に迷った時は、気軽に当院にご連絡ください。当院の救急科は、24時間365日、絶対に見捨てない救急対応を行っています。救急専門医を中心としたスペシャリストチームを構成。夜間も内科と外科の2名が当直し、受け入れ体制を整えています。



2022年度 救急実績 | 1881件



救急科 / 救急専門医
鳴海 雄気

患者さんを助けることが医師のやりがいだと思いますが、救急科はそれを最も強く実感できる分野だと考えています。救急科は通常の外来診療と異なり、救急で初めて会う医師に診察される患者さんやご家族は不安が大きいです。そんな状況でも信頼していただけるよう、わかりやすく説明することを心がけています。



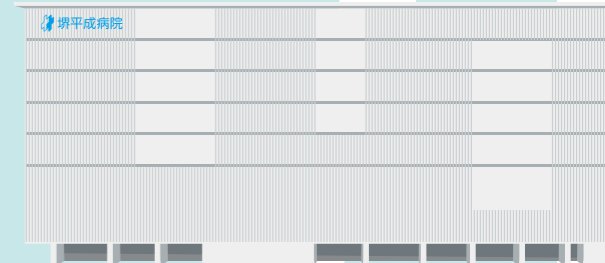
看護部 / 主任
寺田 亙

救急外来では、状態が悪く急変リスクを抱えた患者さんが多いことから気が抜けない時間が続きます。バイタルサインが安定しない患者さんに対して適切な処置を行い、検査の選択や順番を常にアセスメントし、根拠を持って取り組むことを心がけています。また、患者さん本人だけでなくご家族にも適切な声かけをして、不安感を取り除けるような看護を提供することを部署の目標とし、日々、業務に取り組んでいます。



関連事業所の ご案内

当院の周辺には、さまざまな在宅サービスや訪問サービスを提供する事業所があります。ご自身の状態やお住まいの地域に合わせて、最適なサービスをご利用いただけます。



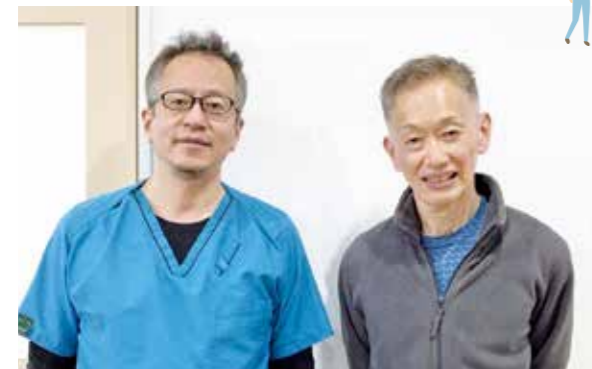
おうち診療所堺

浅野院長に加え、新しく小西先生が入職しました。これからも「絶対に見捨てない」の理念を掲げつつ、より広い専門領域までカバーできる訪問診療を目指していきます。発足して今年で5年目、地域の医療機関、介護関係施設、各種センターとの協働も、引き続き進めていきます。



おうち診療所堺デイケア

デイケアは自立した日常生活を目指して、心身の機能維持・回復、生活機能向上のための機能訓練を受けることができる施設です。理学療法士による個別リハビリテーション、個々にあった自主トレーニングの作成、介護職員による集団体操や動画を用いた体操、認知症予防の脳トレーニングなど多様なプログラムを提供します。利用者さんが「したい」「できるようになりたい」と思うような訓練課題を提供し、自宅での活動や社会での活動につなげていけるようサポートします。



左：浅野 博院長 右：小西 敏彦先生

ハート訪問看護 ステーション



女性の理学療法士が加わりました！

看護師 11名で活動しています。2名の特定看護師が常在し、利用者さんの生活や意向に温かく寄り添える存在になれるようがんばっています。



常在している2名の特定看護師。

在宅で医師の指示を待たずにできる特定行為が増えたことで、手順書に基づき、より早く処置が行えるようになりました。また、リハビリテーションにおいては、今まで男性の理学療法士だけの体制でサービス展開していましたが、2023年4月より経験豊富な頼もしい女性スタッフが入社。きめ細やかな配慮と確かな技術で在宅生活をサポートしていきます。抱負は「その人らしさ、を尊重したケアをしていきたい。」

ハート訪問ステーション 居宅介護支援

在宅生活での介護における困りごとなどの相談を受け、必要な介護保険サービスが受けられるよう調整します。堺平成病院や地域の病院からの退院支援も行い、訪問看護やリハビリテーションなど、医療系サービスの導入も含めて幅広く対応します。



より良い在宅生活が送れるよう、利用者さんとご家族のご意向に寄り添ってサポートしていきます。

新人ケアマネジャーの小島です。通所系サービスでの勤務経験を生かして、社会参加を通じた安心・安全な在宅生活をマネジメントしていきます！

地域に溶け込み、 地域からの 信頼に応える病院を 目指します

当院では4種類の病棟で
地域のみなさんの健康を支援します。

- ・地域包括ケア病棟
- ・回復期リハビリテーション病棟
- ・障害者施設等一般病棟
- ・医療療養病棟

外来リハビリテーションのご案内

下記のような症状でお困りの方に、
外来リハビリを実施しています。ぜひ
一度ご相談ください。

- ・食事の時にむせてしまう
- ・膝の関節が痛くて歩きづらい

※上記以外の場合もお気軽にご相談ください。



- 診療科目 内科・整形外科・眼科・外科・
歯科・皮膚科・泌尿器科・
リハビリテーション科・放射線科
脳神経内科・リウマチ科・人工透析内科

- 受付時間 月～土曜 8:00～16:30
※曜日によって変動があります
■休診日 日曜祝日・年末年始

アクセス

深井駅
徒歩
約6分



医療法人 恵泉会
堺平成病院
SAKAI HEISEI HOSPITAL

〒599-8236 大阪府堺市中区深井沢町6番地13
☎072-278-2461 ☎072-279-9777
🌐sakaiheisei.jp ✉info@sakaiheisei.jp

当院について
くわしくはこちらから

堺平成病院

「回復期リハビリテーション病棟の
日常〜生活リハビリ編〜」より。



ブログはこちらからも
ご覧いただけます！



堺平成ブログ「そやさかい」では、病院の取り組みや治療・健康に関するあれこれ、スタッフインタビューなど、病院の「今」をスタッフがお届けしています！

堺平成病院の
情報を
タイムリーに
発信！

